

沖縄県石垣市尖閣諸島周辺海域における 中国公船による不当な活動に対する決議

令和2年6月2日
自由民主党
政務調査会

沖縄県石垣市尖閣諸島は、歴史的にも、国際法上も、疑う余地なきわが国固有の領土である。

この尖閣諸島周辺海域においては、中国公船による領海侵入が依然頻発しており、昨年の接続水域内航行の延べ隻数は、1097隻と過去最高の水準に達するなど、現場を取り巻く環境は非常に厳しさを増している。

さらに、世界中で新型コロナウイルスが蔓延し、国際社会が協力して取り組まなければならない中、特に5月8日から10日にかけて、中国公船がわが国領海に侵入し、わが国主権を侵害した上、わが国から再三の抗議・申入れにもかかわらず、長期間領海内に留まり、当該海域で漁業に従事していた日本漁船に接近・追尾を行ったことは、極めて危険な行為であり、断じて許すわけにはいかない。（洋上のストーカー行為）

また、この度の領海侵入に至っては、再三の注意、警告等の呼びかけを事実上無視し、数日間わが国領海内に留まるなど、中国公船の異常な行動が目立っている事態は看過できない。

こうした中国側のわが国の主権を侵害する行為、行動に対し、われわれ外交部会は、党本部を通じ、政府に対して中国側に厳重に抗議するよう強く要請し、以下決議する。

- 1、中国公船による尖閣諸島領海への侵入、同海域での日本漁船への接近・追尾は、わが国主権の侵害であり、断じて許すことはできない。今後、中国公船のこうした活動が行われぬよう、日本政府は、あらゆる手段を駆使し、阻止するよう要求する。
- 2、日本政府に対し、国民の生命、財産及びわが国の領土・領海・領空を断固として守り抜くとの方針の下、ハイレベルでの外交ルートでの厳重な抗議を含め、より一層の緊張感を保ちつつ、関係省庁間で緊密に連携し、国民が納得できる毅然とした対応を、強力に推進することを求める。

3、 日本政府に対し、情報戦にも勝ち抜く為、例えばSNSを含めた特に従来と異なる新しい情報発信のツールも活用し、充実した戦略的広報、対外情報発信を通じ、国民が安心し、その理解が深まるように、より一層努めることを強く要請する。

あわせてわが国は、国際社会において最大限の理解と協力が得られるよう、更なる努力を重ねることを強く要請する。

4、 日本政府に対し、日本の領海に不法に入ってくる中国公船のような船に対応する為、海上保安庁をはじめとする関係各機関の大型巡視船を含めた船舶や装備、人員体制等をさらに充実させることを強く要望する。

あわせて、自衛隊との役割分担を踏まえた情報共有・連携強化等も進めながら、尖閣諸島周辺海域の変化する情勢に機動的に対応できるよう、尖閣領海警備体制の更なる強化を図ることを強く要請する。

以 上.